

# 信夫山国道トピックス

平成25年 1月17日

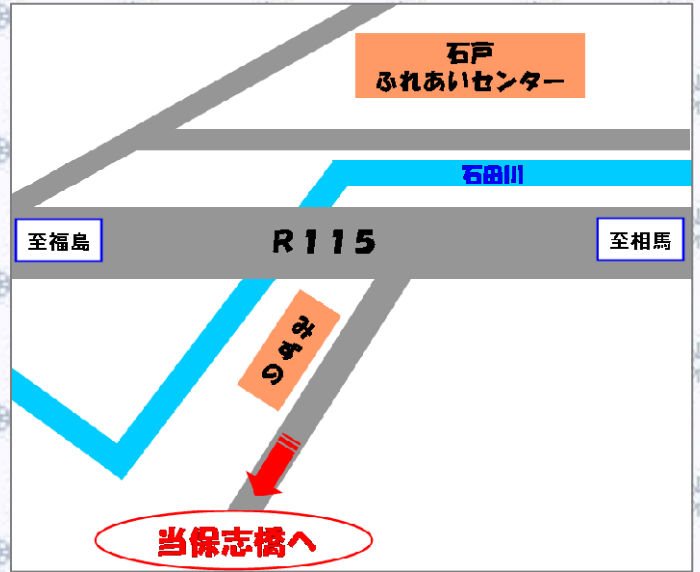
第49号

## 当保志橋について

当保志橋は、右図のように国道から約1km行った所に架けられます。

橋は、自動車などの重さを直接受ける上部構造と、その上部構造を支え地盤に重さを伝達する下部構造に分かれています。

当保志橋は、ラーメン箱桁橋という形式で、これから上部構造を造ります。



完成予想図

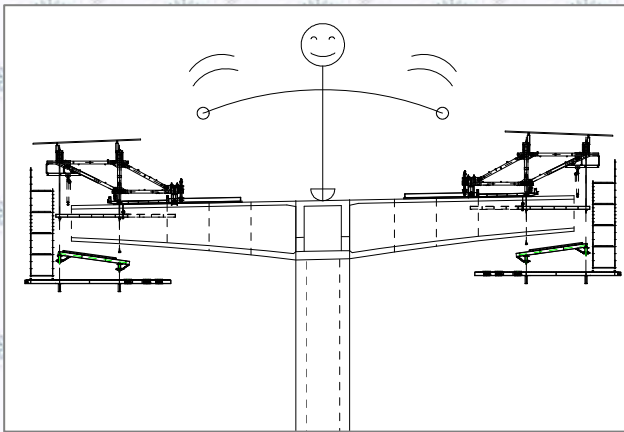
当保志橋は上部と下部を一体化した「ラーメン構造」となっています。

(ラーメンとは「骨組み」を意味するドイツ語のRahmenに由来しています。)

左が完成予想図です。



上部と下部を一体化することで、地震時の橋脚の変形を小さく出来ます。また、つながっていることで橋が落ちるのを防ぐので、耐震性に優れています。



これから造る上部構造は、上の図や写真のように下部構造の橋脚から左右に向かってヤジロベエのようにバランスを取りながら、桁を伸ばします。この方式を、張出架設工法と呼びます。

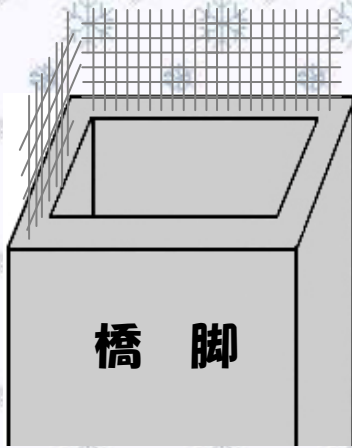
# 橋脚の中身は。

霊山道路のように山間部を通る道路で建設される橋は、橋脚が高くなる場合が多くなります。そのために、橋脚に掛かる地震力の軽減やコストを安くするために、橋の脚そのものの重さを軽くする工夫がされています。

右の写真は、市道大城線の広前地区に造られた広前橋の橋脚ですが、約30mの高さがあり、幅が6.5m、厚さが3.5mとなっています。普通の鉄筋コンクリート構造では大変重くなり、非常に不安定となります。



広前橋



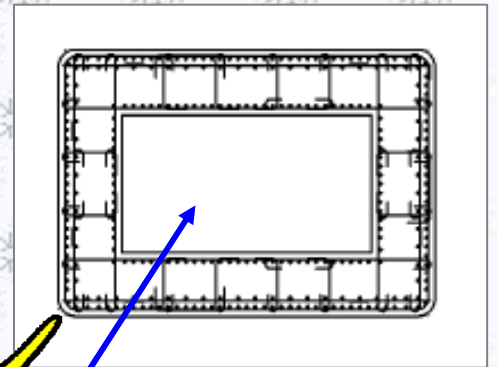
そこで、中身を全部埋めてしまわず、空っぽにするのが「RC中空式橋脚」とよばれる構造です。

橋そのものの重さが軽くなるので、大地震が来ても潰れにくく、また内部に鉄筋を入れているため、折れにくくなります。

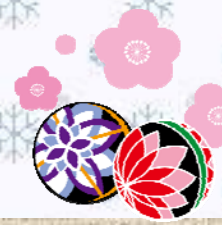
空洞にするためには、内側にも型枠を取り付ける必要があります。

そのために、昇降できる足場を外側と内側に建て、30m昇って30m下りるという作業も必要です。

山間部の橋脚を造るには、大型クレーンがかかせません。



空洞だよ！



**お気づきの点や知りたいことなど、お気軽にどうぞ！**

〒960-8251

福島市北沢又字川下釜8-10

TEL 024-555-6554 FAX 024-555-1850

発行: 国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所 信夫山国道出張所

福島河川国道事務所HP: <http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>

イラスト提供: ふわふわ。リ / (c)独眼電ねこまさむね

↓国道4号、13号、西道路のみになります



道路の異状は  
緊急ダイヤル

#9910

無料 24時間受付

<http://www.keital/thr.mlit.go.jp/fukushima/>